

# *Peace of Galactic Cluster*

## 天の川銀河 4

### 天の川銀河の生命の水



みずがめ座 南のうお座 うお座

くじら座 ウミヘビ座 エリダヌス川座

2013年11月

## 天の川銀河に流れる生命の水 PART1 みずがめ座の女神からのメッセージ

「時をつかさどる水晶とケンタウルス座の勇者たち」に続く新しいシリーズです

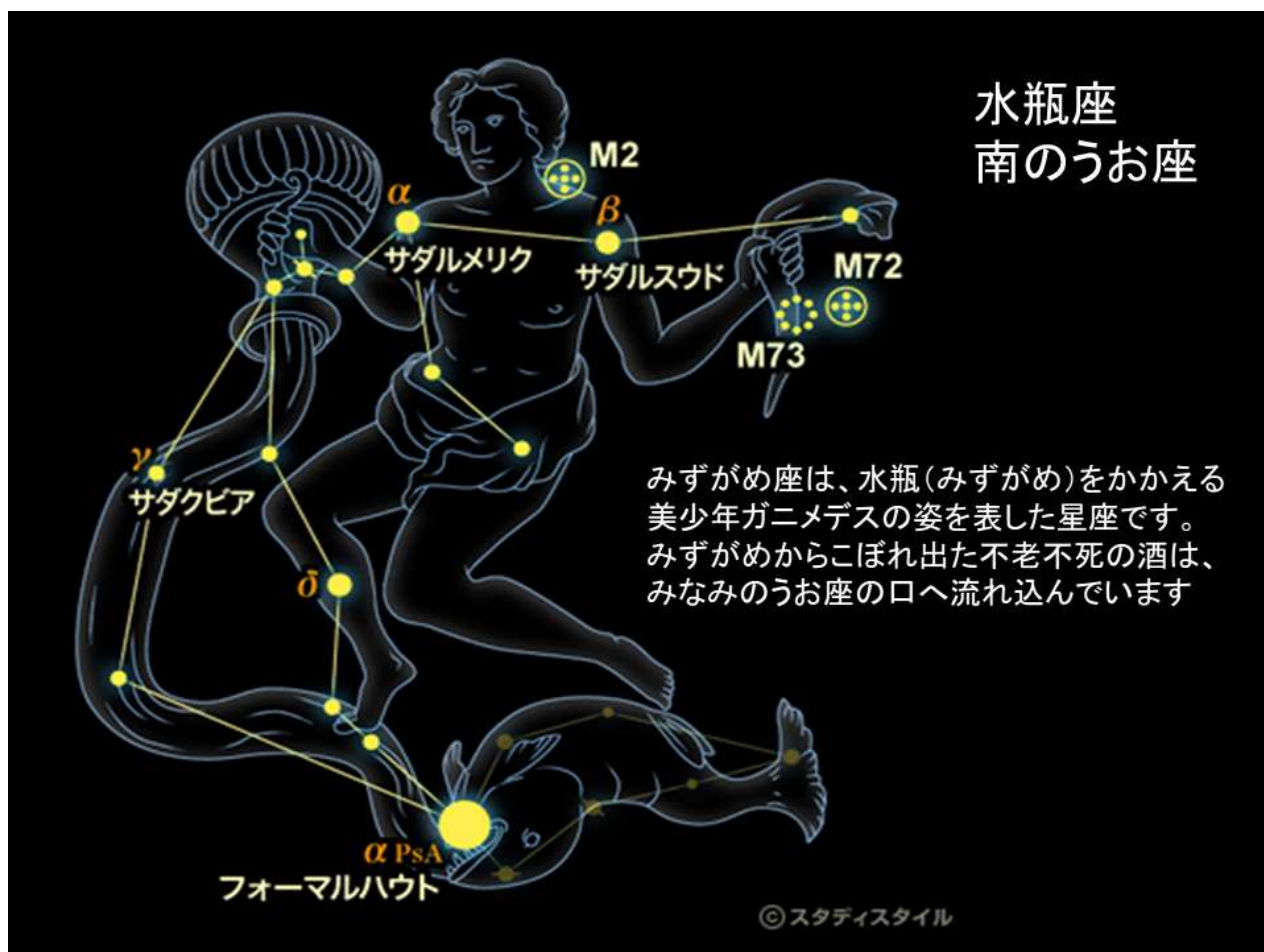
このところ、みずがめ座が気になっていましたが、先日アチューメントの時に大天使ジョフィエル様が現れ、私達をみずがめ座に連れて行って行ってくれました。

みずがめ座とその周りの星座は「宇宙の水」と呼ばれる聖域に位置しており、南のうお座、うお座、エリダヌス座と水に関連する星座がたくさんあるところです。

この場所は、偉大なる根源の創造主から、生命を生み癒す源である「生命の水」を私達の天の川銀河に導く場所ですが、様々なネガティブなエネルギーが入り込み、みずがめ座が壊れそうになっています。

昨日応急処置をして、光のシールドをはり、ネガティブなエネルギーを一掃しましたが、このみずがめ座を含む水の星座たちの働きを整えないと、みずがめ座が壊れて大洪水を起こしてしまいます。

そして、そのあとは、水が枯渇して、天の川銀河が水不足になってしまいますのでこちらの救援を行います。



## ○みずがめ座の女神からのメッセージ

私達の大切な水についての話をさせてください。

私達みずがめ座がもたらす水は、この宇宙の創造主が、生命を生み出し、生命を潤すために与えてくれる水です。それは生命のプラーナとも呼ばれるものです。

みずがめ座の水瓶の中から流れ落ちた水は、女神アフロディーテの化身ともいえる、南のうお座の中に入り、アフロディーテの力を借りて、この宇宙の様々な星と生命のもとに運ばれます。

アフロディーテ様は、この宇宙にとっては、必要不可欠な「生命の水」の運び手なのです。

みずがめ座は、その生命の水を支える大切な星座なのですが、最近、闇のエネルギーによって傷ついた星やマスター、数多くの生命達が増えるにつれて、みずがめ座から流れ落ちる水が今まで以上に必要になってきました。

星や星に生きる生命を養い、癒し、浄化するためです。

また、闇によって荒廃させられた星は、荒れ果てた大地となり、自らの力で水を生み出す力を失ってしまいました。

星の生命を保つために、私達のもとから流れ出る生命の水が必要なのです。

みずがめ座と南のうお座の創造主と女神たちは力を合わせて、できるだけ多くの水を、それらの星に供給しようとして無理を重ねています。

またこの宇宙に生きる多くの生命が、自らの生存と癒しのために、このみずがめ座の「生命力あふれる水」を必要とし、この水を奪いに来ます。

私達は、そのことを決して拒むわけではありませんが、私達の水は、この天の川銀河の星々と生命に分け隔てなく与えられなくてはなりません。

また私達のサポートをしてくれる水の星座たちも、以前は自らの星座で、私達と同じように、創造主からの水を受け取ったり、また自分たちで「生命の水」を生み出していたのですが、それらの星座の中の主要な星たちが、「生命の水」を求める存在達に支配されたり、その星の女神が傷つけられタために十分な働きができなくなっていました。

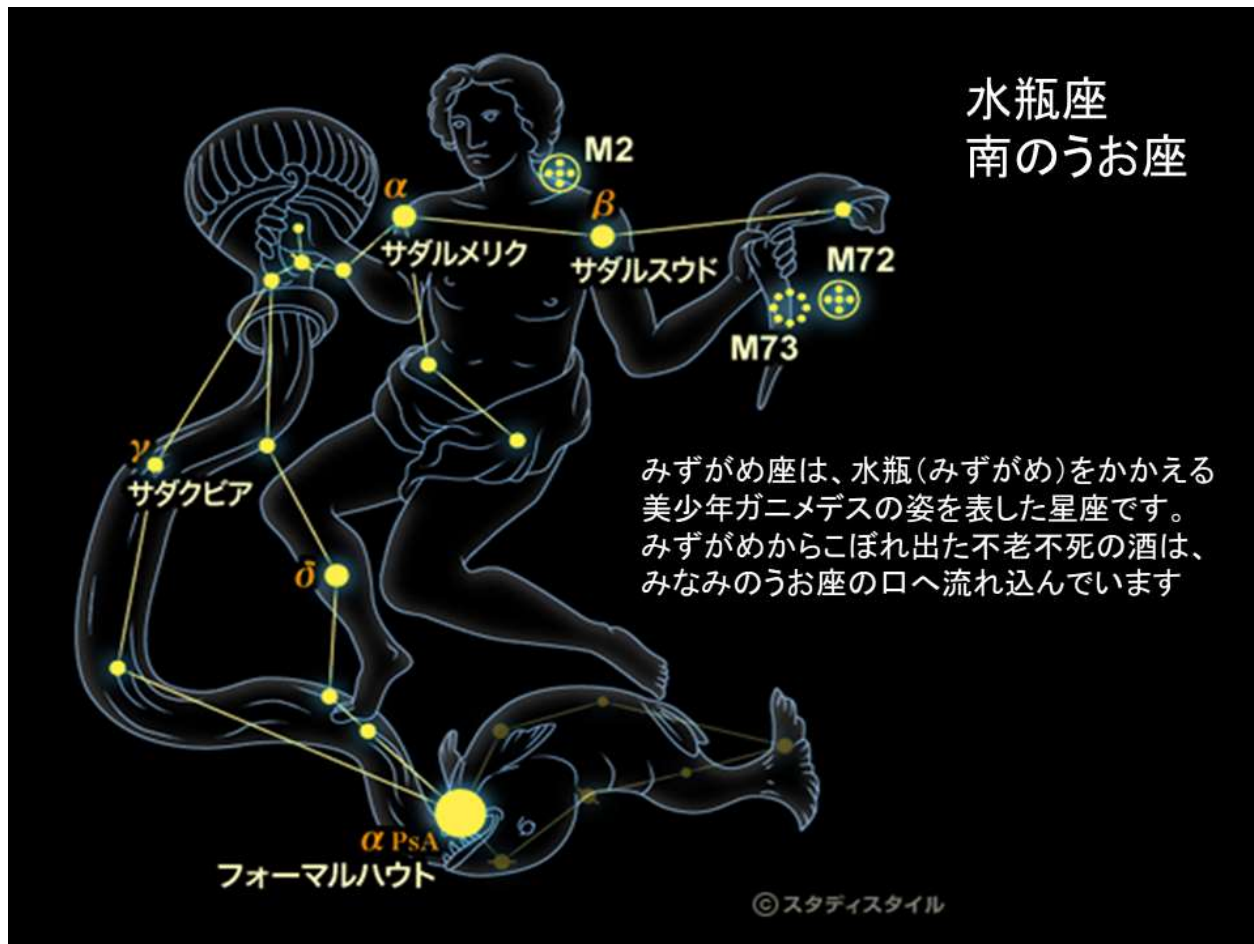
この天の川銀河に、十分な生命の水をもたらすために、みずがめ座だけでなく他の星座たちの働きももとに戻してあげてください。

ペテルギウスの創造主の働きがもとに戻り、また時と空間をつかさどる星々の働きも、今までのように動き始めました。

これから多くの星が、再び生まれ変わり、再創造されていきます。

そのためにも、私達の生命の水が必要になるのです。どうか「生命の水」を守ってください。





### ○みずがめ座と生命の水を守るために光のシールドを作る

私は、最近みずがめ座の事が気になり、調べ始めていたところでした。

私達は、騎士団をひきつれみずがめ座に入りました。

みずがめ座では、小人たちが一生懸命に石版に文字を掘っています。

現在の惨状を、ほかの星の皆さんに伝え、助けを求めようとしているようです。

私は、その石板を受け取り、騎士団に翻訳してもらい、みずがめ座の現状とこの宇宙を潤す「生命の水」の働きについて知ることとなりました。

「このみずがめ座のひずみが大きくなり、みずがめ座が壊れそうです。助けてあげてください。

多くの存在達が、水を必要としています。

そのために、みずがめ座が、あえて亀裂を作り、多くの水を流していますが、このままでは、みずがめ座が持ちません。

中には、このみずがめ座を巡って争いを起こしたりネガティブなエネルギーを、その大切な水の中に混ぜようとする存在もいます。」

私は、騎士団と対応策について話をするために、このみずがめ座のマスターに出てきてもらいました。

そして、まずこのみずがめ座と南のうお座にネガティブなエネルギーが入らないように、光のシールドを作ることにしました。

まず今私達がいる次元に光の通路を作ります。

エルエル、エルナエル、ツバーンのマスタードラゴン達のドラゴン部隊を中心に、帝釈天やわし座騎士団たちが一体となって、光の通路を作るためにみずがめ座と南のうお座を走りまわります。

南のうお座のフォーマルハウト星から、みずがめ座の水の流れに沿ってサダクビア星、水瓶を支える美少年ガニメデスの両肩に当たるサダルメリク星とサドルスウド星へと光の通路を広げます。

そして美少年であり星のマスターとなったガニメデスの足元にあるフォーマルハウト星へと戻ります。

そして、魔法使いの大天使ラジエル様やセントジャーメイン様、マリーン様の力を借りて、その光の通路を、光のフロアーに変えていきます。

次に行う事は、この光のフロアーを多次元にして、さまざまな次元の闇やネガティブなエネルギーが入らないようにすることです。

女神にお願いして、この星域の創造主のもとに案内してもらいました。

予想通り、フォーマルハウト星の上の次元にいらっしゃいました。

私達は、この光のフロアーを創造主の次元まで押し上げ、そこから一つ一つ次元をクリアーにしながら降りていきます。

#### ○みずがめ座に巣食うネガティブなエネルギー達

創造主とその一つ下のレベルでは問題なく光のフロアーが広がりましたが、そのもう一つ下の次元に2つのネガティブなエネルギーが見つかりました。

サダルメリク星に、この生命の水を必要以上に欲しがる存在がいました。自分の孤独感や苦しみを、生命の水で癒そうとして、ここに居座っているようです。

私達は、この存在に光を送り、闇の渦巻きから切り離し癒しました。

またサドルスウド星には、おそらくこの星自身のマスターが、生命の水を自分の思うままに支配しようとして、闇に落ちているマスターがいました。

私達は、癒しの天使達と愛の女神をそのマスターのもとに送り、彼の心を癒すとともに、闇の渦巻きから切り離しました。これでこの次元も大丈夫です。

もう一つ下の次元にはいると、大変なことが見つかりました。

それは、水瓶から流れ降る生命の水の源のところに、たくさんのスピリットがいるのです。

それも、飢餓や水不足のために死んでしまった魂たちが、のどの渇きや飢餓感のために、光の世界に帰ることができず、生命の水に群がっているのです。

空腹のまま死んでしまった子供の姿をしたスピリットもたくさんいて、可哀そうで涙が出そうになりました。でもこの生命の水の源流に、これらのスピリットを放置しておくわけにもいきません。

私は、大天使たちに頼んで、多くの天使たちを呼び寄せ、この報われないスピリット達を光の世界へと導いて

もらいました。

この次元にも光のフロアーができました。

### ○みずがめ座の潜在意識をクリアーにする

そして、私達はもうひとつ下の次元まで行きます。

ここは、みずがめ座や生命の水に関わる、潜在意識の世界です。

驚いたことに、このみずがめ座を支配したり、生命の水を欲しがる意識で混沌としています。

それらの意識は、自らが存在するために水を渴望しているものもあれば、この水を使って他の星や存在を支配しようとしているエネルギーもあります。

私達は、これらの意識が、みずがめ座と生命の水に影響を与えないように、先ほどみずがめ座の女神からもらった2つの道具を使用することにしました。

一つは闇のエネルギーを跳ね返すマントです。

魔法使い達にマントの4辺を持ってもらい、みずがめ座が隠れるくらいに大きく引き伸ばしてもらいます。

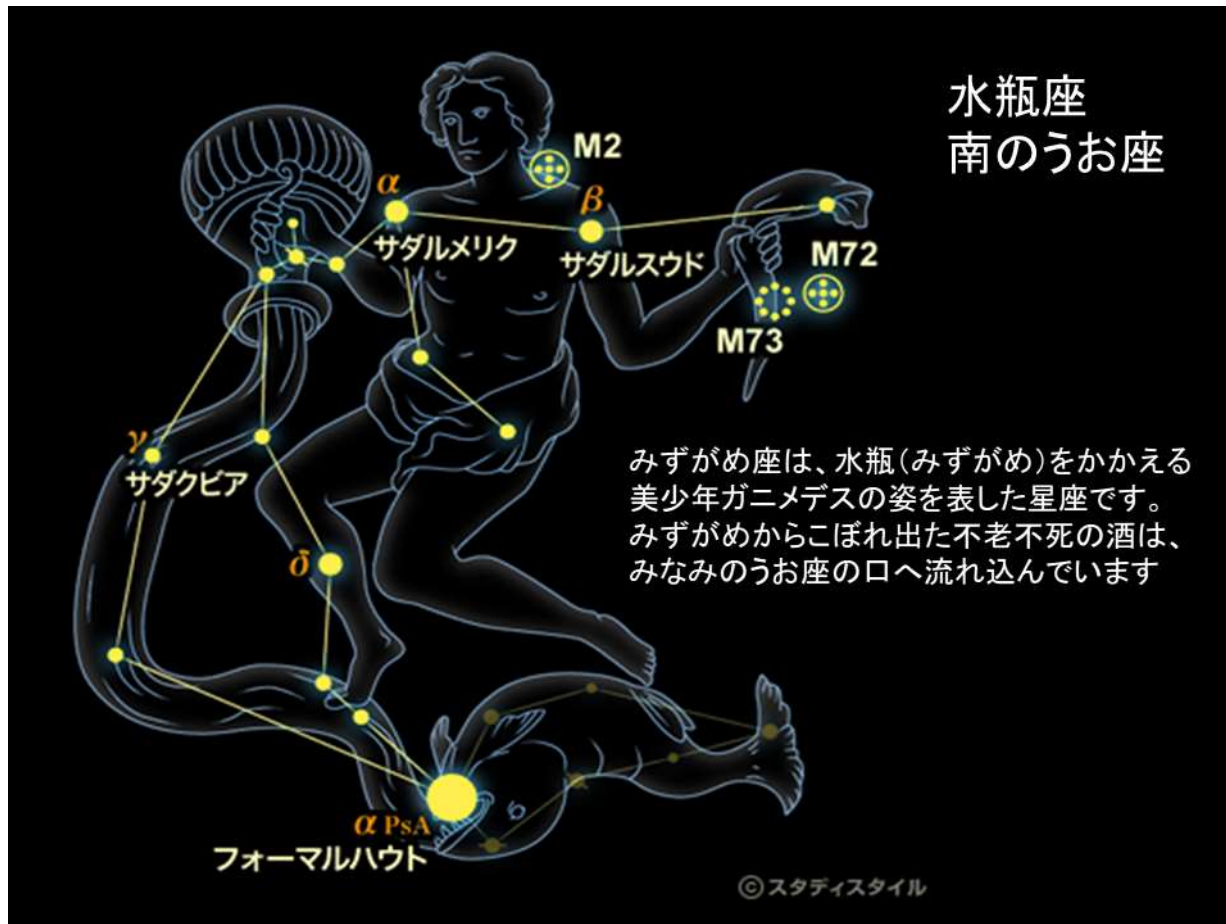
それをみずがめ座とその潜在意識の間にはさみこみ、みずがめ座を支配しようとする意識とみずがめ座を切り離します。

そのマントを押し下げ、潜在的なネガティブなエネルギーを隔離します。

そしてもう一つ道具、虹のワンドで、それらの意識を広範囲にわたって浄化するために、マントの4辺と中央に虹のワンドを立て、虹色の光を放ちます。

もちろん少し時間がかかりそうですが、これでみずがめ座と生命の水は安心です。

次回から、各星を回りながら、みずがめ座や他の星座たちのエネルギーを活性化し高めようと思います。



### ○フォーマルハウトの働き者のマスター

私達のみずがめ座の旅が始まりました。

私達は一番輝いているフォーマルハウト星へとおりました。

この南のうお座は、とても特殊な場所にあります。それはみずがめ座から流れ落ちる水をこの南のうお座のフォーマルハウト星が受け止めるのです。

この南のうお座は、女神アフロディーテの化身とも言われています。私達にとってアフロディーテ様は、創造主のファミリーの1員で、この地に植物や生命達の創造を行う豊穡の神であると共に愛と美の神でもあります。また海や水の女神として、サラスパティ様と共に働くこともあります。

そのアフロディーテの化身である南のうお座は、この宇宙の大創造主からもたらされた「生命の水」を受け取り、この宇宙の全域に受け渡す働きがあるのです。

フォーマルハウト星によって受け止められた水は、うお座、くじら座、エリダヌス座、ウミヘビ座等の水に関連する星座の働きによって、天の川銀河の全域にもたらされます。

しかしながら、各星座に点在する闇の力により、その流れは分断され、生命の水は十分にいきわたっていません。

今回の私達の、ミッションは、水の星座を回り、闇の力を光りの統合し、生命の水を浄化するとともに、その流れをもとに戻し、天の川銀河全体に生命の水をいきわたらせることです。

私達が、みずがめ座に旅立とうとするときに、ガイアの神殿で、奇妙な来客を迎えました。それは7色の神龍に乗った「赤いきのこ」のような存在でした。今までの女神やマスターと全く異なるその容姿に驚かされました。そして頭が、ぱっくりと割れて、そこから胞子のようなものも飛び出してきました。その存在がここに来た理由もよくわからないまま、「生命の胞子マー君」と名前を付けて、一緒にみずがめ座に連れていく事にしました。

私達は、フォーマルハウト星にいき、星の女神と共に星の状況を調べると、星の一部が大きく茶色に変色している所がありました。

かなり闇の力に侵されている様子です。

その理由を聞くと、それはこの星において、水の分配を行ってきたマスターであるとのこと。

彼は、あまりにも職務に忠実であったために、世代交代の時期が来ても、自分の仕事を他者に手渡すことなく、その仕事に執着してしまい、この星の水を一人で支配しようとしたため、闇の力に飲み込まれたようです。

私達はまず、この星域の創造主にお会いしてご挨拶を行い、その対策について話し合いました。

創造主もその仕事熱心なマスターに、少し困り顔です。

私達が、彼のもとに行き、彼が今まで行ってきたことをほめたたえ、彼の気持ちを満たしてほしい事を伝えてきました。

私達は、彼の仕事をたたえるための作戦をもって、彼の元を訪れました。

彼は、まるで自分自身で作った檻のようなものの中に入り、他人との接触を拒んでいるようです。

私達が、創造主から頼まれて、マスターの仕事をたたえるためにやってきたことを伝えると、彼も喜んで、私達を迎えてくれました。

癒しの天使達に、賛美歌を歌ってもらいます。そして聖母マリア達にも愛の花束を送ってもらいます。

宴会部長の大国主も呼び寄せました。彼は花吹雪を降らし、その場を盛り上げます。

女神達で、彼が作った檻の柱のようなものを1本1本ずつ取り外していきます。

彼は抵抗することもなく、はずかしそうに様子を見えています。

私が彼のもとに近づき、みずがめ座の女神からもらった虹のワンドを彼にわたし、自らを光りで清めてもらいます。

彼の仕事をたたえながら、彼のハートの中に、光の遺伝子を満たし、騎士団や祓戸大神達が、闇の渦巻きを切り離します。

彼は、自分が行っていることの無意味さをよく理解していましたが、それをやめる事が出来なかったようです。

私達の来訪を喜び、自らを解放してくれたことに敬意を表し、次の光の次元へと昇ることに決めたようです。

## ○暗く閉ざされたフォーマルハウト星の光の世界



今まで彼がいた世界は、半ば物理的な次元の世界でしたので、そこを流れる水も、水としての実体をもった水でした。

その上にある次元は、「生命の水」のエネルギーを管理する場所です。

そこがとても暗く、まるでヘドロのような水でした。

虹色のワンドとメンバーからたくさんの光を送ってもらい、大分明るくなってきましたが、どこかに大きな問題がありそうです。

しらべてみると、この世界の奥に、とても大きなヘドロの塊があります。

私達は、そのヘドロのような塊を溶かしていくと、その中から一人のマスターが現れました。

そのマスターは、地上に残っていたマスターの仲間で、彼が地上に残り続けていたために、一人でこの光の世界に上がり、仕事をしていたようですが、汚染され続ける水の浄化やその責務の大きさに、飲み込まれてしまい、自らがヘドロのようになってしまったようです。

しかし、これからは、2人のマスターで協力し合って、このフォーマルハウト星の光の次元を守るようになるようです。

#### ○生命の胞子 マー君 生命の水を浄化する。

私達は、今日出会った奇妙な存在である「生命の胞子マー君」に、この水の浄化について尋ねてみました。

そしたらマー君は、「僕、やる。僕、やる」といって、頭からたくさんの胞子を吹き出しました。

その胞子のようなものは、どンドン水の中に入り、自己増殖を繰り返しながら、水の汚れを自分の内側に吸着し、汚れをきれいにしていきます。

まるで浄化槽の中にある菌が、ゴミをどンドン溶かしていく様子によく似ています。

後程、このマー君の事を、創造主様に聞いたら、生命を創造する担当の創造主が、私達の活動を見て、みずがめ座から流れてくる「生命の水」の浄化のために、マー君を作り出してくれていたこと。

そして、その当日に、ガイアの神殿に連れてきてくれたことを教えてくれました。

マー君は、有機物を分解する働きが強い菌から、特殊な力で生み出されたく、自らの働きを自分の意志で行うようになっているようです。

さすが、創造主が自ら作り出してくれただけあって、ユーモアに満ち溢れ素晴らしい働きをしてくれます。

私は、思わず日本の海の放射能汚染や海水の汚染をきれいにしてくれるようお願いしました。

マー君のおかげで、フォーマルハウト星の水はどンドンきれいになっていきます。

この美しく生命力にあふれた水が、この宇宙の全域を見たと始めると、銀河の星も、そこに住む生命達も、もっと美しく輝き始めることでしょう。

## ○フォーマルハウト星の傷を癒す

さてこの後は、生命の水を守るために、フォーマルハウト星の異常を、わし座の騎士団とメンバーに、探してもらいました。

そうすると2か所問題があるところがわかりました。

1か所は、星の大地に大きなガラスが突き刺さっていて、そこから生命の水のしぶきが零れ落ちています。

そして、ガラスの根元から、長い管のようなものが伸びており宇宙空間へとつながっています。

私は不思議に思い、わし座の騎士団とパトリスにこの管の先を見に行ってもらいました。

すると、一つの荒れ果てた星につながっており、そこに身動きができないような状態で閉じ込められている人達があります。

彼等は、このフォーマルハウト星から送られてくる水で、かろうじて生きているようです。

そのために、このガラスを抜くことは、彼らの命を奪う事にもなりますので、私達はその横に貯水池を作り、その管を貯水池の中に入れ、水が漏れないように工夫しました。

そしてマー君も、この水の中に入り、送られた星のエネルギーを浄化したり、星の生命を助ける働きをするという事で、その星に送られていきました。

きっと送られていった星の人たちはびっくりする事でしょう。

これで、安全にこの管を通して、その星へと水が送られます。

この作業が終了したころ、その星の人の意識が、私達の心に、流れてきました。

「本当に申し訳ありません。自分達が生きるには、この水をもらうしかなかったのです。」

私の心は、とても切なくなりました。

この銀河にはまだ、苦しんでいる人がたくさんいる。

この貯水池ができあがると私達は、次の傷跡に行きました。

この傷痕は、何かがぶつかった後なのか、大きな傷跡から、星のしずくがたくさん漏れています。

ここは大急ぎで補修しなくてはなりません。

マー君たちは、その傷跡に入り、どんどん増殖して、その傷跡を埋めています。

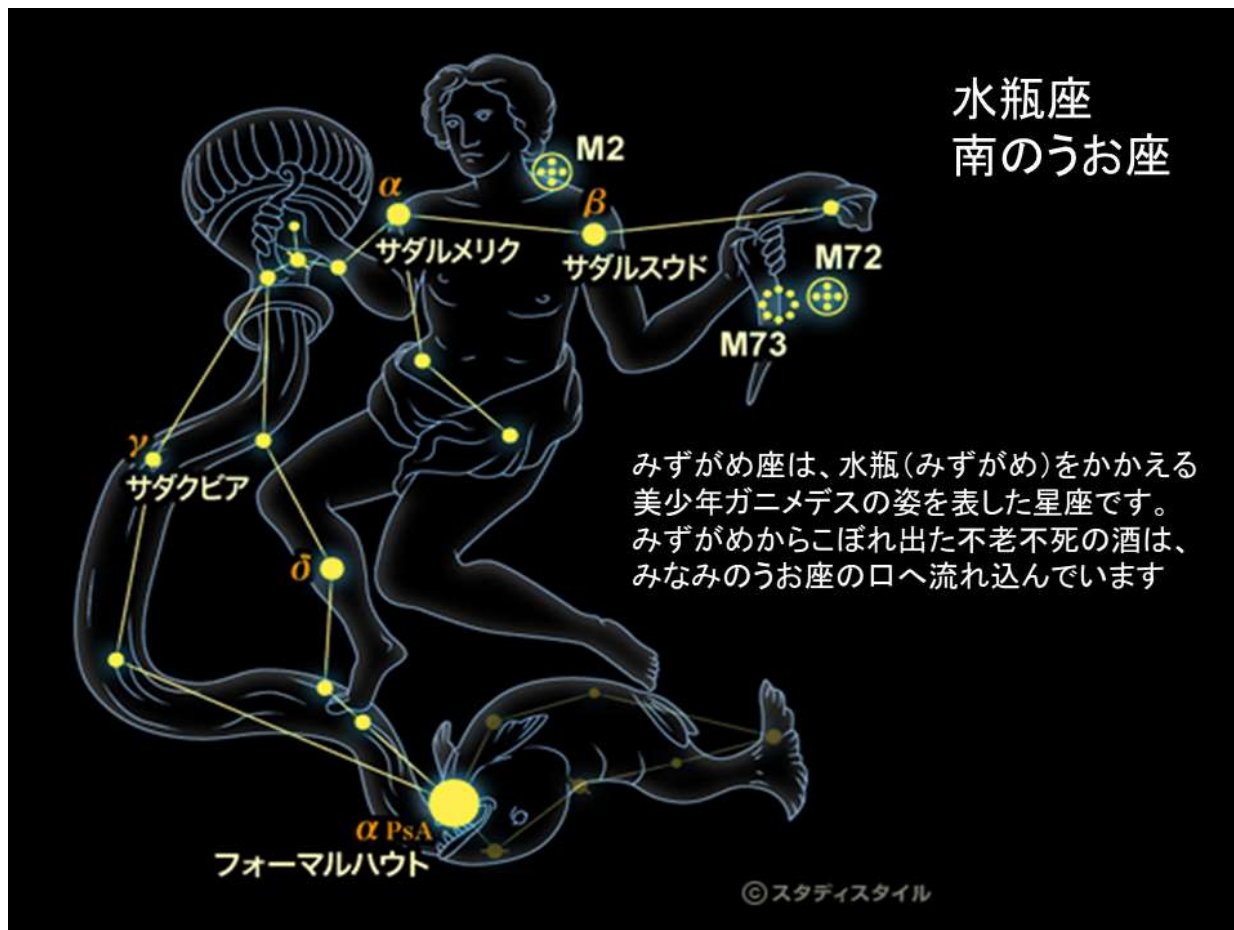
アスクレピオス様もいらして手当をしてくれています。これで安心です。

私達は、フォーマルハウト星の上空に上がると、星を取り囲むように、星全体に光を送ります。

フォーマルハウトの星が守られ、これからも、生命の水をこの宇宙に送り続けることができるように・・・

次回は、この大切な水瓶を支えるみずがめ座の星々を回ります。

さて、美少年ガニメデスに会えるのでしょうか？



#### ○宇宙の天使たちにみずがめ座の守護をお願いする

星のツアーを行い多くのマスターや創造主と出会い、仕事をしていく中で、必要に応じて、私達の能力や、共に活動できるマスターや創造主たちもどんどん幅が広がっていきます。

先日天の川銀河最大の闇と呼ばれるティターン一族のアトラスを闇の渦巻きから助け出すために、私達は、天の川銀河の大天使だけでなく、この宇宙全域を守護する大天使の創造主に呼ばれました。

この創造主は、私達がおそらく天の川銀河はもちろん、それ以外の銀河や宇宙全域で活躍することができるように、宇宙全域を統括する大天使（ユニバーサル・エンジェル）と自由にコミュニケーションが取れるようにしてくれました。

これで、私達はもっと広範囲な仕事をパワフルにこなすことができるようになりました。

また、巨人族のアトラスの闇を解消するために、ティターン一族を生み出した、この宇宙の大元の創造主の力が必要であるという事で、この宇宙の母なる創造主（ユニバーサル・ガイア）様とも、私のハートでつながり、大創造主であるユニバーサル・ガイア様の光も、自由に導くことができるようになりました。

この宇宙規模の大天使様と母なる創造主のおかげで、アトラスだけでなくティターン一族も光の世界へと統合され、ゼウス様たちとも仲直りができました。

そのような過程を経て私達は、今まで以上の責任とそれを遂行するだけの能力を身につけていく事となります。

今日はこの、天の川銀河にとっては、とても大切な「生命の水」を養うみずがめ座と南のうお座を守るために、天の川銀河の中創造主を呼び、星々の上に六芒星を組んでもらい、創造主の光で、この星域を包んでもらいます。

そして宇宙から、ユニバーサル・エンジェルと呼ばれる大天使を一人ずつ呼び出し、光を降ろしてもらいます。

今日は7大天使の方をお願いして、みずがめ座と南のうお座を浄化し守るためのシールドを作ってもらいます。そして、偉大なるユニバーサル・ガイア様をお呼びして、生命の源となる光を、星々に降ろしてもらいます。美しく荘厳な光が、星々を照らしていきます。

そこに生きるものすべてが、愛と喜びに満たされていきます

私は、この星域を光のシールドで覆うだけでなく、水を必要とする星や人々には、適切に水が分かち合われるように、フォーマルハウト星に、水の分配施設を作りました。

うお座のシンボルであるアフロディーテ様も現れ、水が適切に分かち合われるように、水の管理を行う女神を2名つけてくださいました。

そして、この大切な星域を守るために、私どもの騎士団から、帝釈天騎士団、うみへび座騎士団、りゅう座のマスタードラゴンをこの地に残し、警護させることとしました。

### ○みずがめ座の星々を光に戻していく

次の私達の仕事は、この大切な水瓶を支えるみずがめ座の星々を守り、光を高めることです。

私達は、みずがめ座のマスターであるガニメデス様をお呼びしました。

ガニメデス様はゼウス様の寵愛を受けて天に上った美少年ですね。

今でもとても初々しいお姿ででてこられました。

彼は、みずがめ座の女神のもとで、このみずがめ座を守る働きをしているとのことでした。

私達は最初にフォーマルハウト星から、水をさかのぼりサダクビア星に入ります。

この星は、水の流れの中にあります。特定の闇のマスターはいないようですが、多くの水を欲しがる存在達がいるようなので、マザー・クリスタルを活性化していきます。

マザー・クリスタルは海の中や滝にありそうです。

私達は、マザー・クリスタルを活性化して、この星の次元上昇を行いました。

そして次に行った星は、みずがめの取手のところに当たる逆Y字の形をした3つの星です。

この3つの星が、宇宙から天の川銀河に降りてくる水を保ち流していく働きをしています。

ここのマザー・クリスタルは、川の水を流す水車のような働きをしているようです。

私達はこの3つの星を同時に次元上昇させるために、アールスターのマスターと協力して、マザー・クリスタルを活性化していきます。

### ○みずがめ座の女神達に戻ってくる。



みずがめ座の逆Y字の星たちの次元上昇が、終了すると、そこから最初の女神が現れました。メンバーの目には、頭に無限マークがついているようなイメージの女神です。他の女神たちも急いで呼び出してもらいたいようです。私たちは、みずがめ座のガニメデス青年の両肩に当たるサダルメリク星とサダルスウド星へと向かいます。これらの星は、宇宙の生命の水を、水瓶に受け取るための重要な星です。

サダルメリク星は、どうやらこの生命の水を奪いに来る人たちの宇宙船やエネルギーの残骸がたくさん散らばっています。星もまだ汚れていてかなり荒れています。きっと生命の水を守るために、自分を犠牲として、水瓶の水たちを守っていたようです。

まずこの星のマザー・クリスタルを探します。ひとつは、星の奥深い洞窟のようなところに隠されていましたので、クリスタルのために神殿を立てクリスタルの浄化と活性を行います。またもう一つは、海の中にもあるようです。二つのクリスタルが輝き始めると、お互いに呼応するかのように、クリスタルが輝き始め、その光が星全体に広がっていきます。するとクリスタルの中から2番目の女神が現れてきました。

光りがみちてくると星全体も輝き、宇宙船の残骸やこの星にたまっていたゴミたちもなくなります。そして、星がきれいになったところで、いつもの星の次元上昇です。

## ○新しく生まれ変わる星のアカシックレコード

次はサダルスウド星です。この星はまだ美しい海を持ってとても豊かな感じがします。私達が、降り立ったところでは、小さな子供が水遊びをしています。どうやら、前回私が、光に統合したマスターが世代交代をして新しいマスターが生まれている模様です。

そしてその背後には力強い女神がたっています。このみずがめ座の中心となる女神で、子供のマスターの世話もしているようです。またこの星にも水を奪いに来ている宇宙船がありましたので、私達は虹色のマントを、みずがめ座の上にも広げ、彼らからみずがめ座を守ることにしました。

この星にもクリスタルは、海と陸に2つありますので活性を行っていきます。私達が、クリスタルの活性を行って星の次元上を行うと、女神は大きな本を手にして読み始めました。それは、この星や天の川銀河のアカシックレコードみたいなものようです。私達が星の次元上昇を行ったことにより、これからのみずがめ座の未来が変わってくるようです。

## ○価値のある水。価値の無い水

女神に指示されて、みずがめ座の左腕に当たるイーター星に行きました。

とても不思議な星で、この宇宙のアカシックレコードを保存しているような星です。

そして、創造主からの生命の水は、この星を通して、みずがめ座と天の川銀河に流れ込んでくるようです。

何かしら、水の中に浮かんでいるような不思議な星ですが、この生命の水の源泉を守るために、ユニバーサル・魔法使いの力を借りることにしました。

私が呼び出すと、おそらくユニバーサル魔法使いの弟子ともいえるような、2人組が現れました。

1人は黒のマント、1人は白のマントです。

彼等に対策を尋ねるとこのように答えました。

「この水を本当に必要とする人には、この水が輝いて価値があるものに見えるようにしましょう。

この水を奪いに来る人には、この水が価値の無い、汚れたものに見えるようにしましょう。」

私は、彼らの知恵に感心していました。

水を扱う気持ちによって水の見かけを変えるという事はとても素晴らしい考えです。

そして、この星もマザー・クリスタルの活性と次元上昇を行いました。

## ○みずがめ座と南のうお座の全体を次元上昇させる

残る一つは南のうお座の尻尾にある星です。

小さな名前もない星ですが、この星を次元上昇させることで、みずがめ座と南のうお座を囲む大きな五角形が出来上がりますので、この五角形を光のフロアーに変えて、その光を多次元に広げていく事で、この星域を守る光の防御壁が出来上がります。

星の光のフロアーを作る時は、星と星の間を騎士団やシエンロン達に走り回ってもらい光の通路をどんどん大きくしてもらい通路を広げます。

そして魔法使いに手伝ってもらい、光のフロアーとして多次元に広げていくのです。

しかし今回は、それだけでは足りません。

水を求めてくる星の生命や宇宙海賊のような「ならず者達」からも、この生命の水を守らなければなりませんので、さらに強力な光を用いなければなりません。

その為に、中創造主に六芒星を大空で描いてもらい、天の川銀河の天使達はその周りを囲み、さらにユニバーサル天使たちの光を降ろします。

そしてこの六芒星の光の中に、大創造主の1面であるユニバーサル・ガイアとユニバーサル・ウイザード（魔法使い）の光を呼び込みます。

これで、みずがめ座と南のうお座の防御は大丈夫だと思います。

念のために、中創造主のアルスター様の宇宙船をしばらくこの上に常駐させる予定だそうです。

私達は、これでみずがめ座を終り、次回から、生命の水の流れる経路である星座のクリーニングと次元上昇の旅に出ることになりました。



### ○アフロディーテからのくじら座に関するメッセージ

くじら座の問題に関して大切なことをお知らせしておきます。

くじら座は、アトラスと並ぶほどの大きな闇のマスターがいます。

それも、メンカル、ミラ、デネブ・カイトスのそれぞれの星に特殊なマスターがいて、闇の力を誇っています。

本来このくじら座の役割は、みずがめ座からもたらされた水を天の川銀河の生命達に供給することが役割です。南のうお座から流れ込んだ生命の水は、一度天の川銀河のスピリチュアルなレベルに上がりますが、それを再び、物理世界へ降ろしていくのがくじら座の仕事です。

クジラ座は、そのおおきな体と卓越した物理化のパワーによって、天の川銀河に流れ込んできた、生命の水をこの天の川銀河の物理的な次元および、その近くの次元へと固定させる役割を持っています。

くじら座の主要な星は、それぞれ異なる次元と領域につながっており、多次元にわたる生命の水を、それぞれ次元ごとに分けながら分配していきます

くじら座により、降ろされ固定されてきた水は、うお座、エリダヌス座、ウミヘビ座等の領域の広い星座によって、この天の川銀河の様々な星に分配されていくのです。

問題というのは、やはりその星で働くマスター達が、力を持ちすぎて傲慢になり、マザー・クリスタルを傷つけたり、女神の働きを阻害してしまっていることです。

メンカル星は、周りの 5 つの星と共にこのくじら座すべてを統括し、多次元への水の働きを調整するための場所です。

メンカル星の上には、水にかかわる創造主もいらっしゃいますが、主だったマスターが創造主から離反してしまいました。

というのも、マスターの中心となった魔法使いが、自らが創造主になろうとしたことが事件の発端です。

魔法を使って、他の星のマスターと騎士団を支配してしまいました。

創造主は、危険を察知していち早く他の次元に逃げ込んでいきましたが、このためにくじら座の働きは統制を失い、お互いの星のマスター達が権力争いを行い、騎士団や魔法使いたちを使ってお互いを傷つけあっています。

その争いにより、この天の川銀河に適切に分配されるはずの水は汚染され、流れは滞り、分配がうまくいなくなりしました。

生命の水が流れないことにより、この宇宙の生命創造の働きも滞り、創造主たちの力も十分に発揮されません。

まずメンカル星と 5 つのクジラの頭の星を正常に戻し、くじら座の統治形態をもとに戻してください。

大変なのは、メンカル星にいる魔法使いです。おそらくトート様の力でも及ばない可能性がありますので、ユニバーサル魔法使い様のお力添えをお願いしてください。

星全体の時を止めるだけでなく、彼は姿を隠すマントを持っていますから、匂いをかぎ分けることが得意な、おおかみ座の騎士団をそれまでに仲間にして彼を探してください。

そして、愛の女神、特に純真な魂に戻していくアリアドーネ様とマー君の力を彼に注いで、彼の心と体に巣くう闇のエネルギーを取り払ってください。

最後は魔法使い同志の戦いになるかもしれません。

皆さんは虹色のワンドと虹色のマントを必ず使用してくださいね

その後、創造主が、復活したら彼の指示のもとに作戦を立ててください。

もう一つ大きな障害は、ミラ星です。

ここも巨大なパワーを持った魔法使いがあり、時間と次元を自由に行き来することができますので、時間だけでなく次元も固定してください。

これはおそらくユニバーサル魔法使いであればできるはずです。

ミラ星が変光星なのは、このミラ星自体が、次元を自由に変える能力を持っているからです。

その次元の狭間に落とし込まれたら、皆さんは相手をとらえることはできないでしょう。

次のデネブ・アルゲヌビとデネブ・カイトスは巨人族の騎士団です。

生命の水を、物理世界にとどめておくのが彼らの役割で、ティターン一族の末裔です。

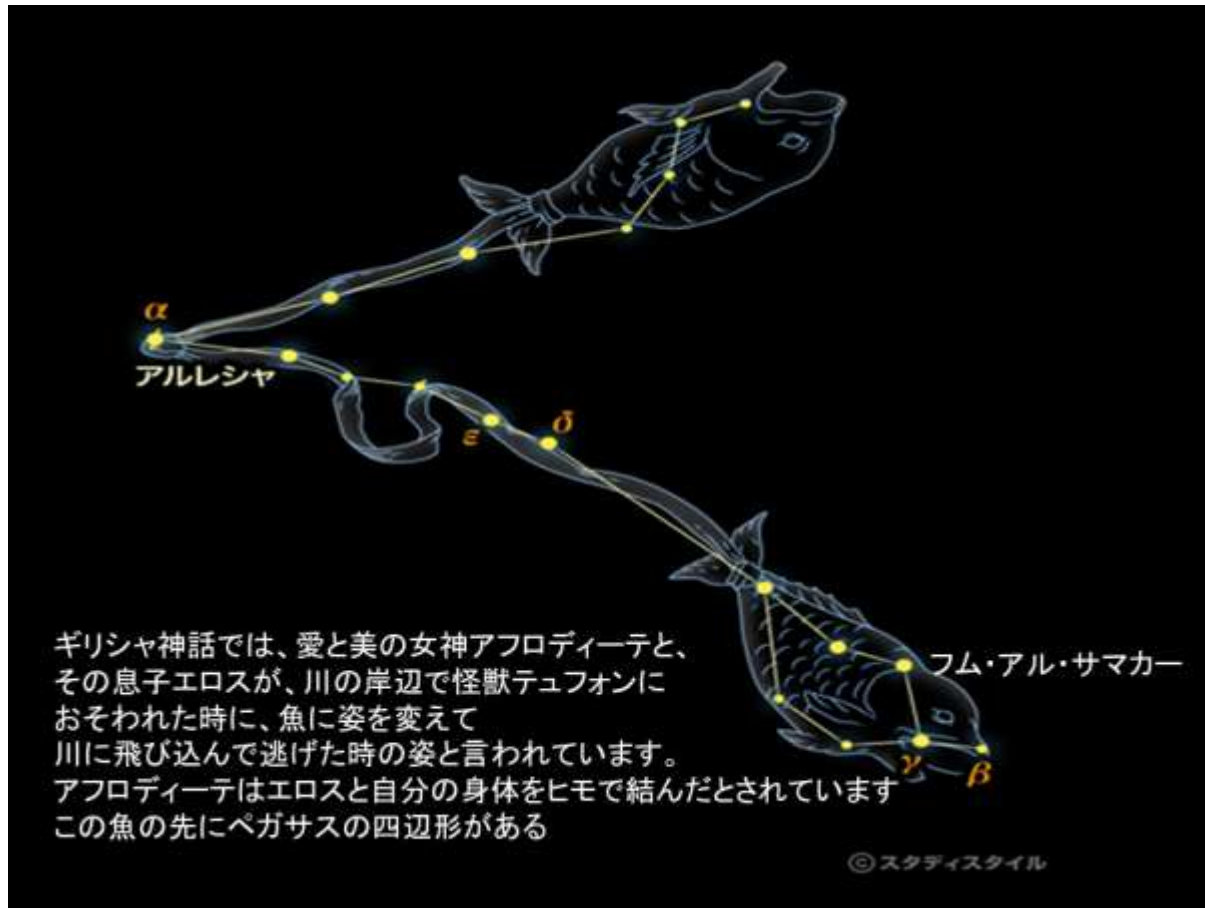
ティターン一族の長兄オケアヌスの子孫として、この天の川銀河で、創造主たちと共に、水にかかわる仕事をしてきました。

しかし、いくつかの問題により、それもうまくいっていませんので、その問題も処理してください。

そうすればこの 2 つの星は、闇の支配から逃れ、再びティターン一族が、しっかりとこの天の川銀河のために働いてくれる星となるでしょう。



## 天の川に流れる生命の水 PART 6 くじら座の魔法使いのマスター の目覚め



### 〇うお座を光の星に変えていく

みずがめ座を光で守り、その働きを正常にした後に、私達はくじら座に向かう事になりました。くじら座は、アフロディーテ様のメッセージにあったとおり、みずがめ座の水を、天の川銀河の様々な領域に運ぶことが役目です。しかし、くじら座の主要な星のマスターや魔法使いが闇に落ち、創造主さえも近づけない状態になっているようなので、その状況を改善しなければなりません。そのために、今回から、私達はくじら座に入る事になりました。

まずうお座のアルレシヤ星に入り、アルレシヤ星とうお座全体を光の波動で覆います。アルレシヤ星のマザー・クリスタルを浄化するとともに、遠隔で他の星のマザー・クリスタルも連動して活性化させていきます。アルレシヤ星から、ポンポンポンと花火が上がるように光が続いていきます。マザー・クリスタル達が目覚めて輝き始めます。そしてうお座全体を取り囲むように、中創造主とユニバーサル・エンジェル達が光を送ります。うお座全体を一度に活性化させる働きです。活性が終わると、「生命のしずく」と呼ばれる星や生命を癒すためのアイテムをいただきました。

私達は、うお座のアルレシヤに入り、くじら座の様子をうかがい作戦会議です。するとエリダヌス座のエリダヌス様という魔法使いが現れました。お話を聞くと、くじら座の魔法使いの仲間らしく、水に関係する魔法使いとして、共に働いていたのだが、メ

メンカル星の魔法使いたちが、闇に落ちたことで、心配して様子を見に来たという事でした。  
そして、このメンカル星を中心として、5つの星にはすべて魔法使いがいて、共同で仕事をしていたそうです。

すると別の魔法使いも現れてきました。どうやら、くじら座の魔法使いのようです。  
このくじら座の魔法使いの中でも、きちんと自分の仕事を行っている魔法使いもいて、私達の事をエリダヌス座の魔法使いから聞くと安心したような雰囲気です。

### ○メンカル星の魔法使い、心の蛾を魔法で消す

今回は、とても偉大な魔法使いが、闇に落ちたという事で、私達は、魔法使いの大元ともいえるユニバーサル・魔法使いもお呼びして備えてあります。

最初に、くじら座全体の闇を浄化し活性する作業をいつものように行います。  
中創造主に星座の上で六芒星を作ってもらい、天の川銀河の天使たちが、その周りを固めます。  
そこに、宇宙のユニバーサル・エンジェルとユニバーサル・ガイアの光を呼び込みます。  
今回は、相手が魔法使いであることから、ユニバーサル・魔法使いにお願いして、目的とするメンカル星とミラ星の時を止め、次元を固定し、闇の魔法が使えないように設定します。

その後、私達はメンカル星へと入ります。赤茶けた岩肌が露出する荒野のような星です。  
魔法使いが姿を隠している可能性もあるので、おおかみ座の騎士団であるシルバーバーチ族も応援に来てもらいました。

シエンロンのエルエル達、わし座騎士団、パトリス騎士団たちも魔法使いを探します。  
魔法使いの姿が、2つ見えてきました。

一つは、上空にそびえる塔のようなところで嘆き悲しんでいる魔法使い。  
もう一つは、洞窟のようなところでぐったりとしているような魔法使いです。

どうやら、自分の意識と肉体が闇にとられる寸前にスピリットだけは脱出したようです。  
まず、闇の渦巻きも隠されているようなので、光の粉を振り掛けて、その姿をあらわにします。  
巨人のティターン一族や騎士団たちが闇を取り囲み、闇の渦巻きに光を与えていきます。  
魔法使いたちは、その周りで、闇の魔法から、魔法使いを守ります。

聖母マリアと愛の女神達、癒しの天使たちは、うづくまる魔法使いの意識と肉体を癒しています。  
そして、私達はこの魔法使いの先生であるユニバーサル・魔法使いとともに彼のもとに歩み寄ります。  
光の遺伝子を彼のハートに注ぎ込み、彼と闇の渦巻きを切り離し、光に統合します。  
ユニバーサル魔法使いの魔法によって、傷ついた肉体と意識がスーと上にあがり、塔の上にいる魔法使いのスピリットと一つになります。

魔法使いは、とても正義感が強い魔法使いで、ユニバーサル魔法使いの弟子の中でも、ひとときわ輝く存在だったようです。  
ところが、非常にまじめな性格で、墮落していく魔法使いが許せなくて、ジャッジを行いすぎてしまい、自らの心に憎しみという闇を持ってしまったそうです。

その為に、自分自身の心を闇に占拠され、あとは闇の手先となって動かされてしまったようです。最後のところで、自分自身のスピリットは守ったようですが、自分自身の行ったことに対して、深い反省を持っていました。

彼がそのような話をしている間に、彼の心から大きな蛾のようなものが出てきました。魔法使いは、自分の中にそのようなエネルギーがあったことに驚き、自分の魔法で、その蛾を消し去って行きました。

私達は次に、このメンカル星のマザー・クリスタルに向かいました。

マザー・クリスタルは、この星の地下にありました。

そこは金鉱の中なのかとても美しい黄金色で満ち溢れていました。

まるで、夢の世界のような地下の王国です。

私達はいつものようにクリスタルを活性化し、この星の次元上昇を行いました。

すると、上の次元の扉が開き、美しい光りがどんどん流れ込み、フェアリーたちが現れてきました。

もともとこの星は、フェアリーやニンフ・マーメイド達の星のようです。

星の次元が上がると、それらの住人たちが戻ってくるようです。



### ○くじら座の五芒星の星たち

くじら座の頭に当たるところには、メンカル星を中心として5つの星が輝いています。

それぞれの星に魔法使いがいらっしゃるという事で、星を巡ることにしました。

これらの5つの星を活性し次元上昇することで、この星座を統治する創造主が現れてくることでしょう。

### ★メリリアン

まずくじら座の目の位置にある星です。

星の平地に降り立ちましたが、この星の魔法使いも出てきてくれましたので、おそらく大きな問題はないようです。

マザー・クリスタルのもとに案内してもらいました。

先ほどメンカル星のマザー・クリスタルを活性化するとき、連動してマザー・クリスタルを活性化する装置を使ったのですが、まだ十分に活性はされていません。

マザー・クリスタルのスペシャリストであるユニバーサル魔法使いにお聞きすると、連動装置でクリスタルは目覚め活性を始めるが、やはり一つ一つしっかりと向き合って、クリスタルに語りかけるように活性を行っていかないと、そのクリスタルの本当の輝きが出ないことを教えていただきました。

やはり簡単にはいきません。

そこで、私も気持ちを切り替えてクリスタルに向かい、活性を始めました。

すると不思議な事に、クリスタルの名前が浮かんできます。



この星のクリスタルの名前は、「メリリアン」と言う名前らしいです。

私が、「メリリアン、光輝いてください」と名前を呼び語りかけると、さらに輝きが増しました。

やはりクリスタルも生きていますね、自分を認めてもらう事により、その能力を一気に高めるようです。

### ★メルセデス

次に行った星は、くじらの頭のところに当たる星です。

この星の魔法使いはなぜか、頭がとんがっています。

クリスタルも山頂のようなところにあり、くじら座全体を見張り、明かりで照らすような役目をしているようです。

恐らくこのくじら座にも、みずがめ座と同じように、さまざまな存在が水を奪いに來ることでしょう。

それらを見張り守る役目をしているのかもしれない。

山頂にあるマザー・クリスタルの周りに、立派なクリスタルの神殿を立ててからクリスタルの活性を始めました。

この星のクリスタルは、「メルセデス」という名前です。これは「神の恵み」という意味らしいです。

まさに、創造主から与えられた「生命の水」ですから「神の恵み」そのものです。

この星には美しい海があります。さっそくマー君にも出てきてもらい海をきれいに浄化してもらおうと、海はエメラルド・グリーンに輝き始めます。

そして、マーメイド達が海で泳いでいる様子も見えます。

### ★メディツクス&メジット

次の星は、くじら座の後頭部に当たる場所にある星です。

先ほど、エリダヌスの魔法使いと話していた魔法使いが現れました。

この星は少し問題がありそうです。この星にはもう一人魔法使いがいて、闇に落ちているようで困っています。すぐにその場所に行きましたが、やはり闇の渦巻きの中に巻きこまれています、渦巻きも小さく処理は難しくなそうなので、今回は騎士団たちで処理します。

魔法使いは傷ついているので、カペラ座のイシス様のもとに運びました。

またこの魔法使いの周りにも数名の魔法使いたちが、真空のカプセルのようなものに入っています。

こちらは、ユニバーサル魔法使いにお願いして、元の魔法使いに戻してもらうことにしました。

次に魔法使いに、マザー・クリスタルのもとに連れて行ってもらいました。

この星のマザー・クリスタルは2つあり、最初に行った場所は、星の地下です。

驚いたことに、このクリスタルの周りには、たくさんの星が、クリスタルを埋め尽くすようにおいてあります。クリスタルの光りが、星の形をした夢や希望になっているようです。

私達のメンバーも星のかけらをたくさんもらいました。今回のツアーのご褒美をもらった気分です。

ここのクリスタルは、活性していると「メディツクス」という名前が浮かんできました。

このくじら座から、生命の水と共に、宇宙全体へ夢や希望を与えているクリスタルのようなので、特に念入りに活性を行いました。

もう一つのクリスタルは、「メジット」という名前で、小高い丘の上にあります。

このクリスタルは、闇を吸収する働きがあります。「メルセデス」と連動して、このくじら座を見張り、ネガティブな存在が来たら協力して、くじら座を守る働きをしたり、生命の水が常に美しくあるように、水の浄化を行ったりする役目がありそうです。

### ★アンティーナ

くじら座の頭部にある星の中で残っている星は、顎の位置にある星だけとなりました。

私達は、その星に入りました。

この星の魔法使いは、とても勢力が強い魔法使いらしく、この星にも大きな闇の渦巻きが見えます。

私達は、その渦巻きを処理して、同じようにマザー・クリスタルを活性化していきます。

### ○くじら座の若き創造主と3人の女神

これでくじら座の頭の五芒星の闇のマスターを光に戻し、マザー・クリスタルも活性化し個々の星を次元上昇させることができました。

次は、このくじら座を統治している創造主をこのくじら座に呼び戻す必要があります。そのためにはこのくじら座の五芒星の星を、同じ次元へとさらに上昇させ、創造主への扉を開いていかなければなりません。

私達は、各星の魔法使いたちに呼びかけ、マザー・クリスタルのもとで更なる次元上昇の準備をさせました。騎士団も各星に配置しいつもの手順で祈り始めました。

しかし今回から、中創造主に加え、さらにレベルの高い3人の創造主であるテレシア様、ミゲル様、ファンタジア様が私達のサポートに入ってくれたおかげで、星の次元上昇も今迄よりもさらにパワフルに行われ始めました。

この5つの星がドンドン輝き広がっていく感じが伝わってきます。

私達は、先日創造主から預かった、クリスタルの種を、丁度くじらの目の場所にあたる星のマザー・クリスタルに埋め込みます。

すると大きな輝きが、五芒星を包み、星の上に大きなハーキマークリスタルのような光が輝き広がり始めました。

この光が、創造主を導くための宇宙船のようにも見えます。

光りの中から、3人の女神が担ぐ神輿のような台に乗った若い創造主が現れました。

その若さに、私達も驚いたのですが、どうも、創造主の世代交代が行われて、まだ子供の創造主が、後をついで、この世界に降りて来たようです。

創造主の後ろに控えるお母様のような女神によって、この創造主の特質が、純粹さ、せいぎ、心の美しさ、清らかさであり、生命の水を守り、光に満たすことが、この若き創造主の役割であることを告げられました。

創造主の持つワンドから光が零れ落ち、くじら座の星々とそこに流れる水が、光輝き始めます。



### ○変光星ミラの大きな秘密

さて次は、このくじら座の最大の難関「ミラ星」です。このミラ星は、変光星として知られている星で、その光は一定でなく、2等星のように輝くときもあれば、全く気付かないくらいに輝きを失うこともあります。その原因は定かではありませんが、きっとこの星のスピリチュアルな様子とも関係しているかもしれません。メッセージでも、闇に堕ちた巨大な魔法使いがいる星とされています。

このミラ星の状態を調べると、星全体がヘドロのようなもので埋まっていることが分かりました。私達は、この星に降り立つ前に、星にたまったヘドロたちを浄化しなければなりません。そこでまず、生命の胞子マー君に星に降りてもらい、星のヘドロたちを浄化してもらいます。

また魔法使いたちをお願いして、星のごみを吸い出すための巨大掃除機を作ってもらい外側からも、ヘドロのようなものを吸い出すことにしました。

するとその過程で、非常に不思議なものが見えてきました。

それはミラ星を覆うくらいの蝙蝠のような頭をした巨大なドラゴンが苦しんでいるようです。

その姿を見た若き創造主に使える女神達は、「ココナッツのミルクを飲ませなくてはいけない」といって、そのドラゴンのもとに近寄ろうとします。

わたしもあわてて、女神達を守るための騎士団を護衛につけて守ります。

どうやら、このドラゴンはくじら座から他の星座に生命の水を運ぶ役目をする特殊なドラゴンの様です。エルエルとエルナエルが近くによって話をしています。

ヘドロに満ちた水を飲むことで気が狂い、十分な働きができずに苦しんでいるようです。

そして、このドラゴンが本来の働きができないために、くじら座の水が滞ってしまったようです。

私達は、このドラゴンに、祈りをささげ光を送ります。

くじら座の女神達も、ミルクを飲ませて一生懸命介護をしています。

私達は、星を浄化するための最終アイテム「星のしずく」をこの星に投入することにしました。

すると、マー君や巨大掃除機だけでは浄化することができなかった、星のヘドロがドンドンきれいになります。

しずくが落ちたところから、水の波紋が広がるように、キラキラと輝く美しい水面が広がっていきます。

星全体が輝き始め、その輝きの中から、白いミラの女神が浮かび上がってきます。

このミラ星はくじらの喉の所にあり、くじらの歌を歌うために大切な役目をする女神の様です

創造主に使えていた女神達も、まるで自分達の姉妹が戻ってきたように喜んでいます。

先ほどのドラゴンも、だいぶ正気を取り戻し落ち着いてきたようです。

私達は、解き放たれたミラの女神と共に、ミラ星に降り立ち、マザー・クリスタルを浄化しミラ星の次元上昇を行います。

ひときわ大きな輝きがこのミラ星を包み込みます。

やはりくじら座にとっても、大切な役割を持つ星の様です

## ○生命の水を循環させるクジラを呼ぶ笛

私達は、続いてくじら座の腰から尾に位置する星デネブ・アルゲヌビとデネブ・カイトスに向かいます。

デネブ・アルゲヌビは、マー君と巨大掃除機のおかげでだいぶきれいになっています。

この星は、美しい花園ようにも見えます。

私達が星に降りると、巨人族たちがやってきました。そしてその背後に大きな白い馬が見えてきました。

どうやら、この星だけでなく、いくつかの星の生態系を、より良い状態に保ち、生命や植物たちを守る存在のようにも見えます。

もともと、この世界に存在する動物たちは、光の存在で美しかったのですが、生命の水のエネルギーが枯渇するにつれ、全体のエネルギーが落ちてしまい、うつくしい生態系を維持することが困難になってきたようです。

しかしながら、星のしずくやメンバー達の祈りによって、この星もさらに美しく輝く星となりました。

巨人族が、何やら大きな法螺貝のようなものを取り出してお願いをしています。

どうやら、くじらをこの宇宙から呼び寄せるための歌をふくための笛の様です。

私達はそれを受け取って、ホビットと魔法使いにお願いをして修理してもらいました。

修理が終わり、巨人たちがその笛を吹くと、低温の美しい音が宇宙中に響き渡ります。

この星のマザー・クリスタルのもとに案内してもらいました。

この時は、もののけ姫の映画のような、大きな鹿が、森の中をゆっくりと案内していく様が不思議でした。そして巨人族や女神達の協力を経て、デネブ・アルゲヌビの星を次元上昇させていきます。

## ○悲しき女神の悲劇

さて問題なのが、デネブ・カイトスです。この星では、メンバーの数名が、違ったビジョンを見えています。一つは、悲しみにくれた神父さんの亡霊のような姿、そして、赤いドレスのうちひしがれたような女神の姿、また星の上で何かを吊い、泣き崩れる女性たちの姿。全く謎に満ちた星ですが、一つ一つのパートを繋ぎ合わせることで、この星の過去が見えてきました。

この星は価値のある鉱物と美しい水に満ち溢れた豊かな星で、とても美しい女神が統治していました。この星の価値を知った異星人たちは、次々とこの星に降り立ち、女神を使って、この星の豊かな鉱物と水を手に入れようと争いが起こりました。巨人族たちも、この星と女神達を守ろうとしたようですが、それもできずに争いによって、この星が荒廃していきます。

やがて、戦いによって星が荒廃した原因は、女神であると言い出す人達が現れ、女神は傷つけられ、苦しめられていきました。

本来は星を守る立場である女神が、その美しさゆえに、巨大な力を持つ異星人たちをひきつけ、星に争いをおこす原因となったばかりか、異星人たちがこの星の女性たちに対して暴力的をふるい、多くの女性を傷つけたこともすべて、女神のせいであるとされてしまったのです。

聖職者は、星のために一生懸命だった女神を憐れみ、女性達を守るために働きかけてきたのですが、それもかなわず亡くなってしまいました。

この星では、女性性が踏みにじられ傷つけられたために、女性達はその女性性を隠しながら生きていきました。

もうすでに荒廃しきったこの星をどのようにしたらよいか・・・悩みました。

わたしは、冥界の神ハデス神を呼び、相談しました。

彼のアイデアで、私達は時をさかのぼり、女神の魂を呼び戻し癒すことにしました。

今は亡霊となっている彼女の魂を呼び寄せると、癒しの天使達や女神達、そして正統なる男性性の愛を持つマスター達が現れ、彼女の魂を癒し始めると、彼女の魂は光の中で喜びに満ち溢れ輝き始めます。

もちろん、時をさかのぼることによって、その時の争いの様子も浮かび上がってきますが、それも天使や創造主の光りによって癒していきます。

過去の時間が修正されたことにより、現在のデネブ・カイトスは、さらに輝きをあらわにしてきました。まるでフェアリー達が魔法をかけたかのように、キラキラと光が舞い降り、美しい星へと変わっていきます。赤いドレスの女神も生まれ変わりました。

くじら座の創造主のお母さんや女神達が、赤いドレスの女神を見て、涙を流してよろこんでいます。きっと彼女も、同じ家族なのでしょう。



## 〇くじら座が光の星座として生まれ変わる

デネブ・カイトスが生まれ変わると、これでくじら座のすべての星が光輝き次元上昇したことになります。私達はここで、このくじら座の光をさらに強めるために、くじら座の周りを、騎士団たちで走り回り、光の通路とフローアを作ることにしました。

まずくじら座の創造主のもとに集まりここからスタートです。

創造主と同じ高いレベルにまで自分達を引き上げここから光の通路とフローアを作ります。

創造主がひとたびワンドを振ると、美しい光たちがキラキラと輝き、美しい水が流れ始めます。

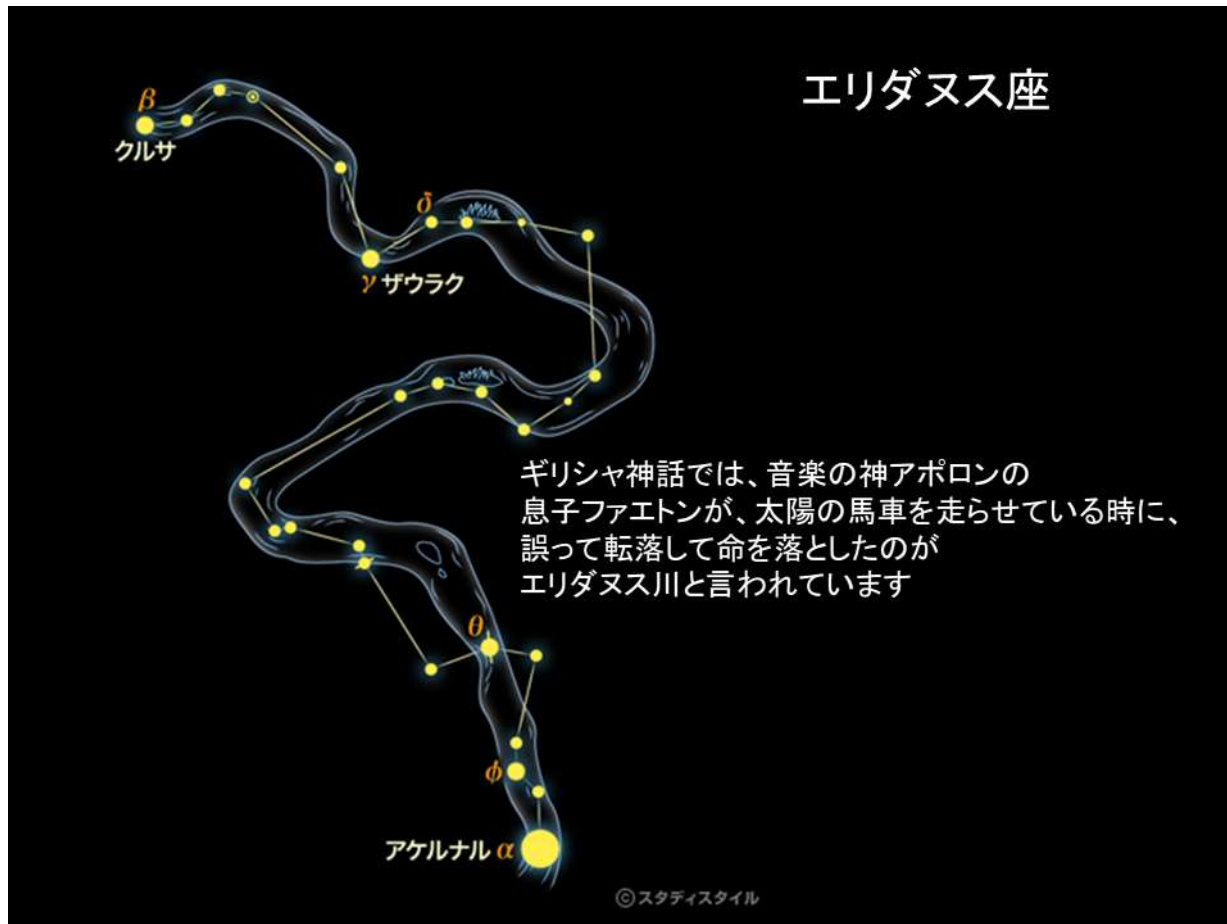
そこから、下の次元に向かって、フローアを広げていきます。

くじら座の全体が光輝き始めると、ミラ星で苦しんでいた水のドラゴン達も、元気を取り戻したようです。

新しい美しい水が、このくじら座から、宇宙に向かって、流れ出していく様子も見えてきました。

これから水のドラゴンと共に、ウミヘビ座とエリダヌス座を回り、天の川銀河の生命の水を生み出すシステムの完成をめざして、次の仕事にとりかかります。





### ○豊かさゆえに墮落してしまったエリダヌス座の星々

くじら座が終わって、私たちは生命の水を、この宇宙にめぐらせる働きをする2つの星座にかかわることになりました。

その一つがこのエリダヌス川の名前を持つエリダヌス座です。

この星座はとても細長く、その中にいくつもの星がありますが、まずこのエリダヌス座に着いて最初に現れたのは、エリダヌス座の中ほどにある三ツ星にいる魔法使いでした。

彼は周りを閉ざし、自らを五芒星の中で守り、エリダヌス座の流れに光りを送っていました。

彼は、一生懸命エリダヌス座を守っていたのですが、力尽きて守りきれなかったことを深く悔やんでいました。

というのも、このエリダヌス座の多くの星たちは、エリダヌスの星の間を流れてくる豊かな水のおかげで、鉱物資源に恵まれ、とても豊かな星となったのですが、そのために星の人々が感謝を忘れ、労働意欲を失って墮落してしまったそうです。

人々は快樂におぼれてしまい、文明を享受し、自然を浪費したりゴミをたくさん出すような生活になってしまいました。

星の中には、破滅してしまった星や津波などの自然災害によって、星の文明のリセットを余儀なくされた星もあるようです。

確かにこの星座全体を見渡すと、川全体が薄汚れているようにも見えます

私たちはまずこの星座全体をきれいに清掃することから始めました。

魔法使いに頼んで大きな掃除機を作ってもらい星々の間に散乱するゴミやネガティブなエネルギーを片付けます。

そのあとに、星のエネルギーを浄化すると「星のしずく」を落とし、あとはマー君の出番です。

## ○黒い羽の王

この作業を行っている間に川の中央の曲りくねっているあたりの星に黒い羽を持った存在が見えてきました。小さな闇の渦巻きも背中についているようです。

近くには、悲嘆にくれた女神の姿もあります。

話を聞くと、王様は人々のために、豊かな星の資源をたくさん使ってその生活を満ち足りたものにしてあげていたようです。

女神が、国民に過度の物を与えすぎると、国民が甘えてしまっていて働かなくなるからと言って、王様を諫めたのですが、聞き入れてもらえず、女神は国民から反感を買ってしまったとのこと。

しかし鉱物資源が失われ、星の豊かさがなくなってしまうと、国民たちは王様に反発し、星を捨てて出て行ったそうです。

王様も女神も、その悲しみのために深く傷つき、王様の白い羽も黒くなり、闇のエネルギーにとらわれてしまいました。

今はこのエリダヌス座の小さな星の中で、長い間失望とともに佇んでいるそうです。

この星もマザー・クリスタルを活性化し次元上昇させていきます。

## ○クリスタルを育てる星 アケルナル星

次に向かったのは、エリダヌス座の一番下にあるアケルナル星です。

アケルナル星に初めてついたとき、驚いたのは、もともと美しい水の星であるはずが、今はとても汚れて殺伐とした星のように見えることです。

洞窟の中にマスターが、隠れていて私たちを見つけると走り寄ってきました。

マスターの話によると、このアケルナル星は、そこに住む人達の天使のようなピュアな魂で、水の清らかさと美しさを守るための星だったということです。

しかし、人々が豊かさにおぼれてしまったために、純粋でピュアな心を失い、それにつれて水を汚し、星のエネルギーも低下して次元降下を起こしてしまったようです。

この星にはもう一つ大切な特徴があります。星の中にたくさんクリスタルがあるのです。

クリスタルを純粋でピュアなエネルギーで育てていくのもこの星の役割のようです。

この星のマザー・クリスタルは、ナタージャという名前らしいです。

ナタージャを活性化して次元上昇していくと、空から、白い馬に乗った大天使ミカエルのようなマスターと女神が現れました。

お名前をラザエルという正義の天使様のようです

彼らは、アケルナル星を守り導いていたようですが、人々の墮落によって、星が次元降下していくと、自分たちの次元とアケルナル星の次元が異なってきたために、アケルナル星に在ることができなくなったようです。アケルナル星が、次元上昇して元の位置に戻ってきたために、また彼らが星に戻ることができたようです。

それとともに、新しい仲間が増えました。マー君と同じような性質を持つキノコ型の生命です。私はキノコちゃんと呼んでいますが、マー君が水を媒介としてエネルギーの浄化を行うことに対して、キノコちゃんは土を媒介として、エネルギーの浄化を行うようです。

### ○魔法使いによって守られたクルサ星

マスターラザエルとともに、エリダヌス座の正反対にあるクルサ星へと向かいます。このクルサ星から出てきたのは、とんがり帽子をかぶった魔法使いです。ここには、人のような生命は全くいないようで、星が荒らされている様子もありません。とても美しい星です。この星には、フェアリーやユニコーン、ペガサスなどがいます。

### ○サウラク星、愛に落ちて行ったマスター

エリダヌス座の中でも最後に残った星が、サウラク星です。このマスターは、かわいそうなことに、闇に落ち闇の渦巻きによって困まれています。手にバラの花を持って、昔の愛の記憶にとらわれているようです。私たちは癒しの女神たちによって、このマスターを光りに統合し、星の次元上昇をしていきます。この星にも大きな川が流れており、その川の底には、パワーストーンが敷き詰められ、クリスタル達が育っています。

私たちは一通り、エリダヌス座の浄化と活性が終えた後に、偉大なる創造主達の力を借りて、星座全体の次元上昇を行いました。これでエリダヌス座も大丈夫そうです。



## ○天の川に流れる生命の水 PART10 王様と息子たち うみへび座



### ○王様と3人の王子様

私たちは、次にうみへび座に向かうことになりました。

うみへび座は、私たちの騎士団でも、ヒュードラ様が率いる優秀な部隊がある星座ですが、星座の中の様子はあまり思わしくないようです。

先日も王様が弱っていて統率がとれていないことをうみへび座のマスターが伝えてきました。

また今回、私たちがうみへび座に降り立つ時も、内乱が起きているからという事で、海へび座のしっぽのところにある星へと降り立ちました。

この海へび座の問題は、主に王様の3人の子供たちによる土地の豊かさと権力にたいする争いが原因となっているようです。

それに加え、外部からの闇の力の介入が、その混迷を深めているようです。

まず私達は、創造主の力によって、海へび座全体に浄化の神聖幾何学を描いてもらい、星座全体の浄化を行いました。

そして王様の星へと向かいます。このうみへび座の頭部の目にあたるところが王様の星です。

王様は、力なく横たわっているようにも見えます。周りに側近の貴族たちも控えています。

王様は私たちが来るのをずっと待っていてくれたらしく、私たちが歓迎してくれます。

私達も王様に敬意を表し、この星座の浄化に取り掛かることにしました。

私達は最初に、王様の星の右横にある星へと入りましたが、一面荒野で荒れ果てています。

パトリス達に、星の捜査を依頼しましたが、際立って問題があるところが見当たりませんが、ただ荒野に一人



たたずむ女性が見つかりました。

メンバーの一人が、とても汚い部屋へと続く入口を見つけました。

まさかこんな所にはいないだろうなと思いつつも入っていくと、よれよれになった男性とゴミのように汚れたクリスタルが見つかりました。

驚いたことに、この男性が王子様でした。

私たちは、すぐにマー君とキノコちゃんに王子様とクリスタルをきれいにしてもらい、浄化と活性を行いました。

もちろん、星の次元上昇も行いました。

そして、荒野に佇んでいた女性を、ここに呼び戻しました。

彼女は、王様の最初の奥様であり、マドリアーヌというこの王子様のお母様でした。

星の次元上昇が終わると、よれよれの王子様もきちんとした身なりの王子様に戻り、星も光り輝く海、花が咲き乱れる森が現れ、そこにユニコーンやマーメイド、フェアリーたちの姿も見えます。

もともとはとても豊かな星だったようですが、その豊かさを奪い合う間に、星のエネルギーが低下し次元降下を起こしたようです。

王女様も現れ、王様のもとに戻られることになったのですが、すでに王様の横には新しいお妃がいましたので、どうしたものかと思案しましたが、一緒に戻ることになりました。

王様の星に戻ると、幸いなことに、王様は王女様と王子様を心優しく迎えてくれました。

この星は王様の男性性のパワーが強すぎるために、王女様も2人必要だったそうです。

私たちは、まだ独身の王子様に王女様を迎えることをお勧めしました。

その時王女様が、つぶやくようにおっしゃいました。

王様があまりにも立派な方だったために、少しでも王様に近づけようと子供たちに過度の期待をかけ、子供たちどうして争わせてしまった。

ただ子供たちを愛せばよかった。私たちは、母親の女性性を間違えて使用してしまった。

私たちは、王様の星の活性化と次元上昇を行うに当たって、女神たちにお願ひして女性性のエネルギーをたくさんおろしてもらいました。

## ○戦闘中の星に降り立つ アルファルド星

次のアルファルド星に降り立つとき、普通の状態でない様子が伝わってきました。

空をレーザービームが飛び交い、騒音と混乱に満ち溢れています。

これはどうしたのかと尋ねると、星の戦乱が起こっているようです。

クラシャー連合の配下のような存在が、この星に攻撃を行い、星の人々は、地下の洞窟のようなところに逃げています。

私たちもそのまま星に降りることは危険なので、まずこの戦いを起こしている連中をかたづけけるために、大き

な光りのマカバで星を多い、1か所だけ捕獲のための出口を作って、彼らを閉じ込める作戦をとりました。

マカバの中には、光の創造主のしずくを雨のように降らすと、戦いを仕掛けた存在達は、出口に向かって殺到し、我先にと罠の中へと入っていきます。

その場所では、レオンハルト様とアールスター様、騎士団のメンバーが待ち構えており、光を送っています。そして愛の女神たちが、彼らを抱きかかえ癒しています。

この部隊は、大型の戦闘兵器なども持つかなり強力な部隊ですが、もともとはアールスター様の部隊であったようですが、クラシャー連合の心理作戦によって、アールスター様を裏切るように仕向けられ、闇の世界に落ちて行ったようです。

この部隊が一掃されると、私たちは星に降り立ちました。

そしてこの星の王子様を呼び出しマザー・クリスタルの場所を尋ねました。

マザー・クリスタルは空にあるようです。私は虹の女神イリスに頼んで虹をかけてもらいます。

空にあるマザー・クリスタルを活性化すると、美しい女神とクリスタルを守るニンフが現れました。

そして、このマザー・クリスタルの下にサブクリスタルがあり、地中にもサブクリスタルがある立体構造のクリスタルの配置であることを教えていただきました。

その3つのクリスタルをどんどん活性化していきます。

するとこの立体構造のクリスタルの特徴である「生命創造」の機能が回復し、小さな天使たちが生まれてきました。

そして黄金色の大きな鳳凰のような鳥が、空を舞い羽ばたくと金粉が降ってきて生命の息吹を地上に降り注いでいます。

地下からもピンクやゴールドの光りが浮かびあがって愛の女神をさらに輝かせます。

するとその光りは、星の地下まで広がり、星の内部を照らしていきます。

アルファルド星は次元上昇を行うと、星全体が美しい輝きに満たされていきます

この星の王子様も、喜びながら見えています

最後に女神は、カーネーションの花を、王子様に手渡し、お母様への愛を伝えるように、そして慈愛に満ちた子供達が生まれてくるように伝えてきました。

## ○穏やかな尻尾の星

私たちは、3人目の王子に会うために、うみへび座の尻尾にある星へと向かいました。

ここは、私たちが最初に降り立った星で、他の星に比べても大変穏やかで静かな星です。

小高い丘の上に降り立ち、王子様とともにマザー・クリスタルへ向かいます。

メインのマザー・クリスタルは、海の上に浮いているようにも見えます。

そしてそのクリスタルを囲んで3角形を作るように、サブクリスタルが配置されています。

私たちは、いつもの手順でクリスタルを活性化しこの星の次元上昇を行います。

さてこれで、うみへび座の星はすべて活性され次元上昇して、本来の働きを取り戻してきました。

次は、うみへび座全体を一度に次元上昇していくことになります。

偉大なる創造主とユニバーサル・エンジェルの力によって、私たちはうみへび座を、この宇宙の生命の水をつかさどる星座として、再び光りの星座へと戻しました。

このうみへび座を光の星座に戻すことによって、水にかかわる星座たちの多くが、通常の働きができるようになりました。

創造主から送られる大切な「生命の水」も、みずがめ座と南のうお座によってこの天の川銀河に導かれ、くじら座によって、物理世界や多次元の世界に送られます。

そしてエリダヌス座やうみへび座によって、天の川銀河の各地へと送られていくのです。

生命の水の働きが、順調にこの天の川銀河に満ちることにより、また新たな生命創造のドラマが始まることでしょう。

まさに、星の人々の人生ドラマを垣間見るような星の物語でした。